【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成19年4月26日(2007.4.26)

【公開番号】特開2001-127790(P2001-127790A)
【公開日】平成13年5月11日(2001.5.11)
【出願番号】特願平11-310552
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｌ　12/54　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　13/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　7/173　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｌ　12/54
Ｇ０６Ｆ　13/00　３５４Ｄ
Ｈ０４Ｎ　7/173　６１０Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成18年9月6日(2006.9.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　コンテンツと、前記コンテンツのサイズ及び時間制約の双方を含む付帯情報とを取得するステップと、
送信帯域幅を取得するステップと、
前記付帯情報及び前記送信帯域幅に基づき前記コンテンツが前記時間制約内にコンテンツを伝送できるかどうかを判断するステップと、
前記判断に基づき前記コンテンツに対して廃棄、蓄積、送信の少なくとも1つの処理を行うステップと、
を有する情報伝送方法。
【請求項２】　前記コンテンツが前記時間制約内にコンテンツを伝送できないと判断されたときは、前記コンテンツが伝送されずに蓄積または廃棄される請求項１に記載の情報伝送方法。
【請求項３】　コンテンツと、前記コンテンツのサイズ及び時間制約の双方を含む付帯情報とを取得するステップと、
送信帯域幅を取得するステップと、
前記付帯情報及び前記送信帯域幅に基づき前記コンテンツが前記時間制約内にコンテンツを伝送できるためのコンテンツサイズを計算するステップと、
計算された前記コンテンツサイズに合わせて前記コンテンツを変換するステップと、
変換されたコンテンツを送信するステップと、
を有する情報伝送方法。
【請求項４】　前記変換されたコンテンツを、変換する前のコンテンツへの参照情報とともに蓄積するステップをさらに有する請求項３に記載の情報伝送方法。
【請求項５】　コンテンツの要求を取得するステップと、
１つ以上の通信端末に関して、識別情報、送信帯域幅、応答時間、前記通信端末における該当するコンテンツの有無、のいずれかまたは複数の通信端末情報を取得するステップと、
前記通信端末情報に基づき、該当するコンテンツが蓄積され、かつ最も高速に前記コンテ

ンツを伝送できる通信端末を検索するステップと、
検索された前記通信端末から前記該当するコンテンツを取得するステップと、
を有する情報伝送方法。
【請求項６】　通信端末情報に、通信端末に蓄積された１つまたは複数のコンテンツを管理するコンテンツ管理表が含まれている、請求項５に記載の情報伝送方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
【課題を解決するための手段】
上記の課題を解決するために、コンテンツと、前記コンテンツのサイズ及び時間制約の双方を含む付帯情報とを取得するステップと、送信帯域幅を取得するステップと、前記付帯情報及び前記送信帯域幅に基づき前記コンテンツが前記時間制約内にコンテンツを伝送できるかどうかを判断するステップと、前記判断に基づき前記コンテンツに対して廃棄、蓄積、送信の少なくとも1つの処理を行うステップと、を有する情報伝送方法は、コンテンツの伝送に対して時間制約を持たせ、制約時間内に伝送できるかを判断し、判断に基づいて適切な処理をすることにより送信帯域幅を効率的に利用できる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
また、上記の課題を解決するために、コンテンツと、前記コンテンツのサイズ及び時間制約の双方を含む付帯情報とを取得するステップと、送信帯域幅を取得するステップと、前記付帯情報及び前記送信帯域幅に基づき前記コンテンツが前記時間制約内にコンテンツを伝送できるためのコンテンツサイズを計算するステップと、計算された前記コンテンツサイズに合わせて前記コンテンツを変換するステップと、変換されたコンテンツを送信するステップと、を有する情報伝送方法は、制約時間内に伝送するためにコンテンツのサイズを変換し、変換済みコンテンツを送信することにより、時間制約内に確実に送信することができる。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
また、上記の課題を解決するために、コンテンツの要求を取得するステップと、１つ以上の通信端末に関して、識別情報、送信帯域幅、応答時間、前記通信端末における該当するコンテンツの有無、のいずれかまたは複数の通信端末情報を取得するステップと、前記通信端末情報に基づき、該当するコンテンツが蓄積され、かつ最も高速に前記コンテンツを伝送できる通信端末を検索するステップと、検索された前記通信端末から前記該当するコンテンツを取得するステップと、を有する情報伝送方法は、コンテンツの蓄積された端末に関する情報を持ち、端末情報から該当するコンテンツを持つ端末を探して、その端末にコンテンツを要求することにより、ネットワークにより負荷をかけない端末からコンテンツを取得する。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４５】
【発明の効果】
以上のように、本発明に係るネットワーク伝送方法によれば、コンテンツの伝送に対して時間制約を持たせ、制約時間内に伝送できるかを判断し、判断に基づいて適切な処理をすることにより送信帯域幅を効率的に利用できる。
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００４８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４８】
また、本発明に係るネットワーク伝送方法によれば、制約時間内に伝送するためにコンテンツのサイズを変換し、変換済みコンテンツを制約時間内にコンテンツ内容を伝送することができる。
【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５０】
また、本発明に係るネットワーク伝送方法によれば、コンテンツの蓄積された端末に関する情報を持ち、端末情報から該当するコンテンツを持つ端末を探して、その端末にコンテンツを要求することにより、ネットワークにより負荷をかけない端末からコンテンツを取得することができる。
【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５３
【補正方法】削除
【補正の内容】